

2025年12月15日
ジェイサーク株式会社

お客様各位

証明書有効期間の上限が365日となります。

弊社提携先 米国認証局 Starfield Technologies からの情報によりますと、2026年3月15日に予定されている証明書有効期間短縮(200日)実施(【注1】)を前に、

Google が定めた証明書発行要件(有効期限が2027年1月1日を超える証明書の有効期間上限は365日とする)に対応するため、

12月1日以降、「新規」「更新」に関わらず、証明書有効期間の上限を一律365日に制限して発行することとした、とのことです。(365日を超える有効期間の一部が短縮されること以外、その他仕様は従来の証明書と同等です。)

お客様への対応としましては

- ・「更新」含め一切のご注文を、有効期間1年(365日)で提供します。
- ・今回の「更新」処理で一部短縮された有効期間は、次回以降の更新時に補填されます。**(米国認証局では、こうした更新時の臨機の有効期間の出し入れを管理するため、証明書毎に「ライセンス期間(証明書を利用できる期間)」を別途保持しており、次回以降の更新時に補填することが出来る仕様となっております。)**
- ・従いまして、割引や返金は行いません。

今後、【注1】の通り、2029年3月に向け、証明書の有効期間の上限は段階的に「47日」まで短縮され続けることから、今後も「更新」においては、有効期間の一部短縮が起こり得ますが、その際の措置は今回同様となる予定です。**(更新時の「有効期限の引継ぎ」という考え方は無くなります。)**

以上

[【注1】SSL/TLS 証明書の有効期間が2029年に47日へ短縮、証明書管理の自動化が必須に—CyberArk | IT Leaders](#)